

第一新聞

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001

第166号



節分と春

節分は何の行事なのか？節分とは「季節を分ける」という意味だ。だから節分の次の日から暦の上では春を意味する。

節分の日になると、暦の上では春だと分かっている。実際の空はまだまだ十分に冷たく、街の色もどこか冬に属している。それなのに、世界はもう次の季節へ進もうとしている。その微妙なズレが、私にはいつも興味深く感じられる。

豆まきは簡単な行為だ。炒った豆を手に取り、「鬼は外、福は内」と声を出して放る。それだけのことなのに、人はそこに意味を込める。鬼とは何なのだろう、と考える。たぶんそれは、目に見える怪物ではない。もっと個人的で、もっと曖昧なものだ。例えば、先延ばしにしていた決断や、理由もなく続けている不安、あるいは自分には無理だと決めつけてしまう癖。そういうものが、静かに心の隅に座り込んでいる。

豆をまくことで、それらが本当に消えるわけではない。それでも構わない、と思う。大切なものは、追いつくという意識することだ。少なくとも今日は区切りをつける、という意思表示のようなものだろう。人生には、こうした小さな儀式が必要なのだと思う。

春は、いつも唐突にはやって来ない。気づかないほどゆっくりと、しかし確実に近づいてくる。節分の翌日、突然世界が明るくなるわけではない。それでも、夕方の空の色がほんの少し変わったり、道端の木のつぼみががすかにふくらんでいたりする。そうした変化に気づけるかどうかで、季節の感じ方はずいぶん違ってくる。

年の数だけ豆を食べながら、これまでの春を思い出す。うまくい

った春もあれば、思うように進めなかった春もあった。でも不思議なことに、どの春も、振り返るとそれなりの意味を持っている。冬を越えたいからこその見えた景色が、必ずどこかに残っている。

節分は、冬と春のあいだに置かれた、小さな休符のような日だ。ここで一度立ち止まり、余計なものを外に出し、必要なものを内側に残す。そして、まだ少し冷たい空気の中で、次の季節を静かに待つ。

春はすぐそこまで来ている。派手な音も立てず、約束もしないまま。それでも確実に。節分の夜、豆の残り香が漂う部屋で、そんな春の気配にそっと耳を澄ませる。それだけで、少しだけ前に進める気がするのだ。

(宇都宮先生)



2025/26冬期講習会(2月)

2025/26冬期講習会が終わり、附属中では後期の後半、他の中学校では3学期がスタートして、1か月弱が経過しました。そして、中3生の皆さんにとっては、第3回基礎学力テストが冬休み明け早々にありました。きちんと自分の力を発揮することはできましたか。

高校入試(一般選抜)の願書提出までには、まだ時間は少しあり、卒業テストや最終学力テスト等も進路の判断材料として考慮してくれる中学校もあります。しかしながら、校内で実力テストが実施されない中学

校も多くあり、基本的に今の時期には、もう自分の高校進路を具体的に決定しなければいけません。そう、現実をとらえなければいけないのです。

私達に与えられている時間は、皆、同じ1日24時間・1年365日です。高校入試まで、あと皆さんにはどれくらいの時間が残されていますか。逆算してみてください。中3受験生の皆さん一人ひとりが、これからどのようなことをしていくべきなのか、自ずとわかっていきます。

高校受験本番までに中3生の皆さんがすべき勉強をどのように進めていくか。それは「計画(表)」を作り、実行していくことです。一週間単位でいいので、自分が何の教科、どの教材を使って進めていくか、具体的に示しましょう。そして、自分にとって苦手なところや不十分なところから勉強を進められるようにしましょう(進めやすいところほど後回しです！)。次に完成した計画表を自分の机に置いて、きちんと一日の総括を寝る前にするようにして下さいね。

では、計画表を活用する目的は何か？それは、自分自身の勉強に積み残しを作らないためです。もし積み残しがあると、仮にその部分の内容が入試本番で出題されたら大変なことになってしまいます。確実に勉強を仕上げていくためには、計画表をもとにした消し込み勉強が最も効率的なのです。残り1か月、この時間を最高に有意義な時間とするために、中3生の皆さん、高校受験勉強の質をもっとアップさせられるよう努力しましょう。

高校受験の本番は3月です。そして、高校受験が終わると、今度は、高校入試の勉強の先取りを間髪入れずに早く始めましょう。高校受験は大学受験への通過点です。まずは英語と数学から先取りを進めていくことで、高校生活にゆとりが生まれます。高校生活をより充実した時間にしていきましょ

「人生」は「日々勉強、日々全力」です。高校受験本番まで賢く全力で！高校受験後も決して気を抜くことなく、全力で過ごしていくのですよ。私達、徳島第一ゼミグループの教師は、全力で皆さんをバックアップします！一緒に頑張りましょう。精一杯の君になれ！

(工藤先生)



それぞれの目標へ

新年2026年を迎え、アツという間に1カ月。すっかりお正月気分も抜け、あわただしく3学期を過ごしていると思います。寒さが一段と厳しくなる2月に入り、中学1年生・2年生にとっては、全県の公立中学生が挑む基礎学力テストが迫ってきています。今まで履修した範囲すべてが4科目で出題されます。しっかりと準備をし、テストの点をとるだけではなく、わからないテーマ・苦手なテーマを次学年に持ち越さないことが大事です。共に頑張っていきましょう。

また、中学3年生にとっては、公立高入試が3月上旬に迫ってきています。あと1カ月ですが、まだまだ時間はたくさん残っています。自分のやるべき事を明確にし、努力を続けていきましょう。弱い心、くじけそうな思いに決して負けないでください。保護者の方も、学校の先生も、私たち第一ゼミ講師全員も、全力でみんなを応援しています。最後まで共に走り切りましょう。

(竹田先生)



立春

暦の上では立春を迎え、季節は春へと向かい始めました。まだ寒さは厳しいものの、確実に新しい季節は近づいています。受験生の皆さんにとっても、いよいよ高校入試まで残り約1か月となりました。この1カ月は、不安になりやすい時期であると同時に、最も力が伸びる大切な時間でもあります。

この時期に意識してほしいことは、「新しいことに手を広げすぎない」ことです。これまで学んできた内容を丁寧に振り返り、解けるはずの問題を確実に解ける力に変えることが何より重要です。間違えた問題をそのままにせず、なぜ間違えたのかを考え、同じミスを繰り返さないことが得点力につながります。

また、毎日の生活リズムを整えることも忘れてはいけません。決まった時間に勉強し、しっかりと休むことは、試験本番で実力を発揮するための準備でもあります。

ここで一生懸命頑張った経験は、合否だけで終わるものではありません。高校に入學してから学習姿勢や、自分を支える自信となっていくべきです。この1か月の積み重ねが、高校生活の最初の一步を大きく変えてくれるはずです。春を迎えるその日まで、最後まで一緒に頑張りましょう。

(日下先生)

ハイフリット通信

二月となり、新中一年生たちのハイフリットコースがスタートとなります。大きな目標としていた中入試がほぼ終了となり、新中一年の皆さんには新たな目標が必要になると思います。高校受験、さらにその先の大学受験でしっかりと勝利を掴み取るために、ハイフリットコースでの学習に精いっぱい取り組んでください。



中学生からは新たなメイン科目として、英語が登場します。近年は小学校でも英語教育がどんどん進んでおり、さらに英検や英会話などで、英語の学習を以前から始めている人も多いと思います。しかし、中学以降のいわゆる「受験英語」は、以前から変わることもなく「単語」「文法」「読解」が三本柱となります。大学入試改革がある程度進んでいるここ数年において、これらの重要度は変わっていません。サボることなく毎日コツと取り組むことが重要な科目ですので、可能な限り校舎に毎日登校して、学習に取り組んでください。

算数が数学に変わることも、大きな学習の転換です。もちろん共通点もたくさんありますが、算数と数学は大きな違いがあります。よく世間で言われるのは、「算数は答えを出すことを重視し、日常生活に直結しているものである。数学は答えだけでなくその理由や過程を重視し、文字を使うなど抽象的な考え方に基づくものである。」というものです。数学でも当然計算力は大切ですが、それ以上に論理的思考力が大切になってきます。ただ答えが合っていればOKとせずに、なぜそうなるのかを考えながら一問一問を丁寧にこなしていきましょう。

そして、上級生の皆さん。新中一年が困っている様子を見ることがあると思います。パソコンの使いかたが分からない、校舎のルールが分からない、受講や高速マスターのやり方が分からない。もちろん出来る限り我々が対応しますが、もし困っている子を見かけたら積極的に手伝ってあげてください。先輩たちの姿を見て後輩は育ちます。

良い雰囲気や学習環境は、教師や施設だけでなく、生徒たち自ら作るものです。みんな力を合わせて最高の環境のもとで、切磋琢磨して勉強を頑張りましょう。これからよろしく願います。

(小倉先生)



受験まであと二年

受験学年の皆さんは、出願校がきまり私立大入試そして国公立入試にむけ最終追い込みをかけていることと思います。そして高校2年生の皆さんは受験まであと1年というところまでやってきました。1月18日・19日に共通テスト体験受験を受験しましたが、目標得点は突破できたでしょうか。これから改善しないといけないこととして目標得点との差も目の当たりにしたことと思います。

大学入試は共通テストがクリア出来たら、次はもちろん二次試験が待っています。その二次試験レベルを体感する一つの機会として旧帝大を中心とした体験受験を実施しています。自分の志望大学の問題のレベルそして記述解答の難しさを肌で感じてほしいと思います。その上でこれから春までにどんなことが出来るようにならないといけないのかを自分自身で分析して改めて自分の志望校合格にむけたスケジュールを再構築してほしいと思います。

また高校1年生の皆さんも積極的に二次試験レベルの模試に参加していただく。科目も英語だけでなく受験するというのも可能です。点数の部分はひとまず置いておいて共通テストと二次試験レベルの差をしっかりと体感してください。この差にいつ気付くかというのは卒業生たちをみていてすごく重要だと毎年感じています。模試へも積極的に参加していただく！

(伊勢先生)



受験生

受験生は共通テストが終わり、国公立大学の二次試験や私立大学の一般入試に向けて、今まさに努力を重ねているところです。

さて、ここでいう「受験生」とは、もちろん大学入試を直前に控えた高3生や高卒生のことを指します。では、高3生になれば、誰もが自動的に「受験生」になるのでしょうか。そうではありませんよ。

私は、受験生とは「大学受験に向けて意識的に勉強している人」のことだと思っています。志望校合格を目指し、自ら考え、自ら行動すること、初めて受験生になるのです。したがって、高1生であっても、目標を持ち、意識的に勉強に取り組んでいるのであれば、受験生だと言えるでしょう。

高2生のみなさんは、共通テスト本番まで残り1年を切っています。志望校合格を目指して、一日でも早く受験生になることが重要です。まずは入試日から逆算し、計画を立てましょう。ホームルームや説明会、個別面談などで、大学入試までの理想的な動き(ロードマップ)について何度も聞いてはなりません。入試までの時間は限られています。今、自分が何をすべきかを正確に把握し、着実に学習を進めていきましょう。今日の一日の使い方が、1年後の結果を大きく左右します。今この瞬間から、受験生としての一歩を踏み出してください。

(河野先生)



大学入試

大学入学共通テストが終了し、私立大学の入試が始まりました。受験生の皆さんは、これまで長い時間をかけて学習を積み重ねてきました。試験結果が気になる時期ではありますが、受験はまだ終わっていません。ここからが本当の勝負です。

国公立大学を目指す受験生にとって、本命は二次試験です。共通テストや私立入試はあくまで通過点であり、結果に一喜一憂しすぎる必要はありません。今やるべきことを見極め、気持ちを切り替えて学習に向き合うことが大切です。

不安や焦りを感じることもありますが、それも、それまでに積み重ねてきた努力がなくなることはありません。これまで解いてきた問題、書き込んだきたノート、過ごしてきた時間のすべてが、皆さんの力になっています。

残された時間は限られています。ですが、最後までやり切った経験は必ず自信につながります。体調管理にも気を配りながら、一日一日を大切に、最後まで走り抜きましょう。私たちは最後まで皆さんを応援しています。

(齋藤先生)



自分で遊びを考える力

寒さが残る毎日ですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。今月は、みなさんの「考える」力についてお話ししたいと思います。

春から秋にかけての学童では、休み時間に「何をしようかな?」という声をよく耳にしています。本棚には、漫画を通して歴史を学べるものや、豆知

識の本、図鑑など、さまざまな種類の本が並んでいます。けん玉やルービックキューブ、パズルに加えて、塗り絵や工作の環境も整っています。とはいえ、好きな遊びは一人ひとり違い、日によって変わりますよ。

そのような中、秋から冬にかけて、学童のみなさんに少しずつ変化が見られました。数人で輪をつくり、同時にハンカチを投げて隣の子のハンカチをキャッチ。キーワードを書いた紙をおでこに貼ってみんなで楽しくトーク。紙に丸や数字を書いてオリジナルすごろくづくり。こういったルールはどうか?と話しながら遊びを広げる姿も印象的でした。

自分たちで遊びを見つけた時の表情は、いつも以上にいきいきとしていて、自分の意見をしっかりと伝える姿が多く見られました。想像力やコミュニケーション力もぐんと伸びてきています。

大人になるにつれて、自分で考えて行動する力、さまざまな事例を通して意見を交わす力はますます大切になります。やわらかい頭を持つこの貴重な時期に、たくさん経験をつめるよう、今後も第一駅前学童ではしっかりとサポートさせていただきます。

(第一駅前学童)
(第一駅前英会話)



2026年 2月の予定

- 2/7 (土) ゼミ毎週テストスタート
(①10:50~12:20 ②12:30~14:00 ③16:30~18:00)
①~③のいずれかの時間で受験してください
- 2/8 (日) 早大・慶大レベル模試
上理・明青立法中レベル模試
関関同立レベル模試
- 2/14 (土) 四谷週テストスタート
(新小4は13:45~15:50、新小5・6は13:10~15:55)
- 2/15 (日) 保護者説明会(東進)
- 2/22 (日) 共通テスト本番レベル模試
- 2/23 (月) 保護者説明会(東進)
トップリーダーと学ぶ
→(新中2城内・文理、新中3) 13:30~15:30
新中2城内・文理、新中3保護者会
→14:30~15:30「親力が子供の未来を…」
- 2/25 (水) 高校入試受験生激励会
(入試の心得 先輩からのメッセージ)



とくしま中央高等学院 ブログ

みなさん こんにちは
とくしま中央高等学院です(^▽^)/
とくしま中央高等学院では、通信制高校及び中学生向けのフリースクールについての個別相談会を随時受付しております。
学校生活の送り方や授業の受け方をじっくりと説明させていただきます

日時については、平日の10:00~17:00で行っております。
皆様のご都合の良い日時をご連絡ください。

入学をご検討されている方は、ぜひご参加ください。
↓お問い合わせ・ご予約はコチラから
とくしま中央高等学院
中学生向けフリースクール
⇒088-655-0303
(平日10:00~17:00)



言葉の力

NO.256

「負けるな」
何事にも勝ち負けは存在する。
でも、負けるな
別に勝つ必要はない
負けるな
自分自身に
弱心に
くじけそうなのに
光がみんなを照らすまで
負けるな

